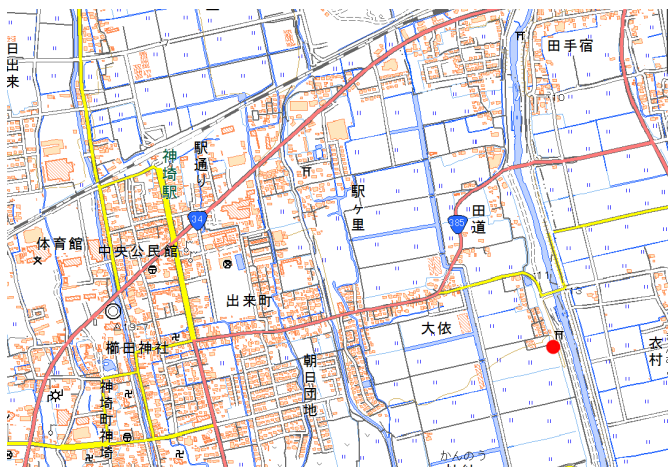


番号	108	災害復旧記念碑		
所在地	神崎市神埼町田道ヶ里 大依天満宮境内			
災害別	昭和２８年（１９５３） 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和３４年９月	
特記事項	昭和６２年１１月 田手川河川改修のため神社移転			



昭和28年6月25日から28日にかけて降り続いた大雨は、特に佐賀、福岡、熊本地方に壊滅的な被害をもたらし、今日でも28水として語り継がれている。この大雨により当時の神埼郡内を流れる城原川、田手川もいたるところで堤防が決壊し大きな被害をもたらした。

この碑は、神崎市神埼町田道ヶ里大依の田手川沿いにある大依天満宮敷地内に立つ昭和28年水害の災害復旧記念碑。後ろに見えるのは田手川の堤防。碑は堤防決壊による災害復旧のため耕地整理が行われ、その竣工を記念して建てられた。



国土地理院電子国土 Web

なお、大依天満宮は昭和62年に田手川改修工事で移転されているので、この記念碑が
建立当時からここにあったものであるかは不明。

「昭和廿八年六月廿六日 堤防決壊 昭和卅年四月耕地整理完了 災害復旧 組合長
嘉村寛蔵 副組合長（以下略） 昭和34年9月建立」

